

別紙活動報告書

平成 30 年度「みーもの森づくり事業」主たる活動の報告

団体名	特定非営利活動法人 隠岐しぜんむら
取組名称	「隠岐の森から学ぶ自然と生活のつながり」
活動年月日	福井小学校 1～2 年生 平成 31 年 1 月 22 日、2 月 1 日 (2 回) 福井小学校 3～4 年生 平成 30 年 11 月 26 日、11 月 27 日、11 月 28 日 (3 回) 福井小学校 5 年生 平成 30 年 11 月 6 日 (1 回)
開催時間	1～2 年生は活動日の生活科の時間 3～5 年生は活動日の理科の時間
活動場所	海士町立福井小学校の学校林、福井小学校教室内
参加人数 (スタッフを除く)	福井小学校 1～2 年生の児童 17 名+教諭 2 名×2 回 福井小学校 3～4 年生の児童 17 名+教諭 2 名×3 回 福井小学校 5 年生の児童 10 名+教諭 1 名×1 回
スタッフ人数	講師 2 名×6 回 スタッフ 1 名 (裏方) ×6 回
計	児童+教諭=106 名 講師+スタッフ=9 名 合計 115 名
活動内容	福井小学校の学校林を活用し、学年に合わせた授業を実施した。1～2 年生は生活科で夏と秋の学校林の観察を行っていたため、生物がよく観察できる夏・秋と冬の学校林の比較を行った。1 回で植物と動物の比較を行うのは難しいため、2 回に分けて行った。3～4 年生は事前にお米について学習しており、海士町のお米がブランド化され、おいしい理由は水の影響があることを踏まえ、海士町の川・森林が良い水を作るサイクルについての学習を行った。5 年生は川の単元を実施しており、事前学習として、川のでき方のビデオ鑑賞、砂山の上から水を流して、川ができる実験などを行っていた。海士町の川の状況は事前学習の状況と異なるため、実際に上流か

	<p>ら下流まで観察し、海士町の川の状況、危険箇所の学習を行った。講師が話して伝える内容ではなく、実験やグループの活動で児童が発見し、考えられるように努めた。学校林を通し、森林単体のことを学ぶのではなく森林と海士町の自然環境がつながっていることを感じてもらうことを目標にし、活動を実施した。</p>
感想	<p>担当の教諭から、年度ごとに教諭が変わる可能性があるので、授業内容を単発のプログラムとしてではなく、今後の授業に取り入れていく前提で作成したいとの要望があり、担当が変わってもスムーズに授業を実施できる体制を作りたいとの意見をいただいた。児童からは「次はいつ?」「今日は何をするの」等の授業に前向きな意見を聞くことができた。事前の打ち合わせ、授業への参加を担当教諭と行ってきたため、現在の信頼関係につながったと感じている。児童の素直な発想や発見、物事に気づく姿は実施する側にとっても嬉しく、今後の活動につなげていきたいと感じた。そして、現在の関係をより発展させていきたい。</p>
備考	

※状況写真、集合写真などを1枚以上添付すること。

【11月6日】福井小学校5年生



【11月26日】福井小学校 3～4年生



【11月27日】福井小学校 3～4年生





【11月28日】福井小学校 3～4年生



【1月22日】福井小学校 1～2年生



【2月1日】福井小学校 1～2年生



